

(様式例)

令和6年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【第2学年】

- ・効果測定の結果から、3観点全てにおいて、ポイントを踏まえた授業を展開することができたと思われる。

【第3学年】

- ・「読むこと」「聞くこと」の順で正答率が高かった。

(2) 課題

【第1学年】

- ・聞く力を養うために、授業中の聞き取り練習および言語活動を充実させる必要がある。
- ・知識、技能を定着させるために、音と文字をつなげて考えさせる必要がある。

【第2学年】

- ・習熟度の二極化を抑えるため、英語を苦手とする生徒が、3観点全てでより主体的に学ぶことができる授業環境や規律を整える。(英語発話の雰囲気醸成や抵抗感の緩和)
- ・書く力、話す力を育成する。

【第3学年】

- ・「書くこと」の力を伸ばしていく。自分の考えや気持ちを粘り強く伝える指導を続ける。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	ほぼ全ての内容で目標値を上回っている。 「主体的に学習に取り組む態度」が目標値と同定度である。		
第2学年	全ての内容で目標値を上回った。	全ての内容で目標値を上回った。 (第1学年時)	
第3学年	全国平均を上回り、3年間の中で一番高かった。	全国平均を上回ったが、前年度より少し下がった。 (第2学年時)	全国平均を上回った。 (第1学年時)

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値、区平均、全国平均は同程度である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を0.3ポイント下回っているが、区平均、全国平均を上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本を重視した帯活動等を取り入れていく。 ・ICT や視覚教材を利用して、文構造を正しく理解できるように繰り返しながら基礎基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステストを定期的に行うことで、英語で自分や他者について表現する力を養い、進んで話す力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 習熟度別少人数指導の充実を図り、個に応じた指導を通して、小学校で育んだ聞く力を活用し、自信をもって活動できるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・文字と音をリンクさせて単語を学習し、自然な発音を覚える。 ・単語や新出文法の反復練習を行い、定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く力を付けるために、聞く活動、言語活動の機会を増やし、教師の発話の英語使用割合を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク、グループワークを1授業に1回以上盛り込み、英語を話すことへの抵抗感を減らし、進んで話せる環境をつくる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本を重視し、4技能を活用した帯活動等で総合的に力を伸ばしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く活動を一層重視して、楽しんで英文が書けるように指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 習熟度別少人数指導の充実を図り、個に応じた指導を通して、自信をもって粘り強く英語を活用できるようにする。